

セルフモニタリング報告書(令和元年度分)

令和2年4月30日

施設名 白鳥王子アイスアリーナ
指定管理者名 (公財)苫小牧市スポーツ協会
所管課名 まちづくり推進室スポーツ都市推進課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己評価
1 事業計画の達成度		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	事業計画を概ね達成	A・ ⓑ ・C・D・E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	トレーニング室利用の増、Airペイ導入	Ⓐ ・B・C・D・E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか(目標値を設定していないその他の施設)。		A・B・C・D・E
自主事業は計画どおり行われたか。	計画通り実施	Ⓐ ・B・C・D・E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	利用団体、企業と花壇整備、王子イーグルスとゴミ拾い等	Ⓐ ・B・C・D・E
2. 利用者の満足度		
利用者の満足が得られているか。	施設全般的には高い利用者満足	A・ ⓑ ・C・D・E
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	常時提案箱を設置受付で把握	Ⓐ ・B・C・D・E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	早急に回答及び苦情処理を実施	Ⓐ ・B・C・D・E
3 管理運営の効率性		
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	光熱水費が増加	A・B・ ⓒ ・D・E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	必要最低限の委託	A・B・ ⓒ ・D・E
収入増加のための取組はされているか。	積極的な合宿誘致や夜間利用枠の割引	A・ ⓑ ・C・D・E

4 適正な管理運営		
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	概ね適正	A・Ⓑ・C・D・E
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	消防・防災訓練の他、 日本公共スポーツ施策推進協議会研修会に参加	A・Ⓑ・C・D・E
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む）。	条例に基づき処理	Ⓐ・B・C・D・E
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	苫小牧市個人情報保護 条例に基づき管理	Ⓐ・B・C・D・E
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	不適切な会計処理はない	Ⓐ・B・C・D・E
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	適正に実施	Ⓐ・B・C・D・E
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	適正に実施	Ⓐ・B・C・D・E
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	定期的な巡回・監視 注意放送	Ⓐ・B・C・D・E
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	法に基づいた管理	Ⓐ・B・C・D・E
5 地域貢献		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	地元業者を最優先	Ⓐ・B・C・D・E

- A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B: 目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C: 概ね目標、事業計画どおり行われおり、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E: 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

自己評価 ★★★★★

（最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。）

指定管理者の自己評価(全体を通して)

館の利用状況につきましては、新型コロナウイルスの影響により昨年より 14,652 人減少した。内容としては一般滑走者で前年比 1,058 人減少、ランニングコースで 140 人減少、専用貸切で 14,267 人減少しました。ただ、トレーニング室は実質 2 月までの開館でも 813 人増加しております。利用料金収入も新型コロナウイルスの影響で、1,828,865 円減少しました。一般滑走は 166,200 円減少、専用利用は 1,775,065 円減額しました。トレーニング室利用料は 112,400 増額しております。支出経費については、光熱水費でサックスツアーの影響等があり電気・水道合わせ 1,811,286 円増額、灯油は 668,948 円減少しております。

施設の利用促進に向けた取り組みとしては、Facebook を活用した教室大会の告知や結果報告、写真とともに掲載を行うことで、市外の方からも大変反響をいただいております。

地域、関係機関、ボランティア等との協働については、民間企業、施設利用団体、施設管理者が共同で行う地域、関係機関、ボランティア等との協働については、民間企業、施設利用団体、施設管理者が共同で行う花壇整備事業が8年目を経過しました。

また、Airペイの導入等により利用者サービスの充実に努めてまいりました。

築20年以上が経過する白鳥王子アイスアリーナの安全性・効率性を重視しコスト管理に心がけ管理しました。